

(電子メール施行)

教 第 6 7 号
令 和 4 年 6 月 2 日

東北各県教育委員会教育長 殿

宮城県教育委員会教育長
(公印省略)

令和4年度宮城県教育委員会・仙台市教育委員会免許法認定講習の開設及び受講者の推薦について(通知)

このことについて、別紙要項により開設します。

つきましては、各講座の受講人員に余裕がある場合には、受講を許可する予定ですので、受講希望者がありましたら、貴教育委員会で取りまとめの上、下記により御提出願います。

記

1 提出書類 受講者推薦一覧表(様式3) 各1部
※講座番号ごとに作成したもの

2 提出先 (1) 宮城県教育庁教職員課育成・免許班
電子メールにより、下記メールアドレス宛に宮城県教育委員会・仙台市教育委員会開設分を提出
E-mail : kyosyks@pref.miyagi.lg.jp

(2) 仙台市教育局教育人事部教職員課
電子メールにより、下記メールアドレス宛に仙台市教育委員会開設分を提出
E-mail : kyo019110@city.sendai.jp

3 提出期限 令和4年6月27日(月)必着

担当：〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町 3-8-1 宮城県教育庁教職員課育成・免許班 須釜 TEL：022-211-3639 FAX：022-211-3698 E-mail： kyosyks@pref.miyagi.lg.jp

1 目的

教育職員免許法(以下「法」という。)に基づき、次の諸要素を目的として実施する。

- (1) 法第9条の5に基づく二種免許状を有する者の一種免許状の取得に係る努力義務の要請に対して、二種免許状を有する教員に相当の一種免許状を取得させること。
- (2) 特別支援学校において、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教諭普通免許状のみを有する教員に在籍教育領域に応じた特別支援学校教諭二種免許状を取得させること。
- (3) 法別表第8に基づく隣接校種免許状の取得を支援すること。
- (4) 法附則第17項に基づく栄養教諭免許状の取得を支援すること。

2 主催 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

3 講習形態

令和3年12月3日付け3教教人第32号文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長通知(以下「通知」という。)により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を目的として、特例的にインターネット等を活用した講習実施形態が令和3年度においても昨年と同様に可能となった。

この通知を受け、当県としては、対面式講習の開設による様々な要因から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に繋がる可能性を鑑みて、例年実施する対面式講習を特例的にインターネット等を活用した講習実施形態にする。

4 開設期間及び科目※文部科学省へ認定申請中

通知に基づき、インターネットを活用した同時双方向型(ライブ配信型)により、8月6日(土)～8月28日(日)に開設する。

開設科目は、別紙『令和4年度宮城県教育委員会・仙台市教育委員会免許法認定講習開設計画(以下「開設計画」という。)]』に示す科目のとおりとする。

なお、開設計画の別表第8対応科目欄に○を付した科目は一種免許状取得のための所要科目と隣接校種免許状取得のための所要科目との併設である。

5 受講対象

- (1) 県内小、中、義務教育、高、中等教育、特別支援学校又は幼稚園に勤務する教育職員で、次の項目に該当する者
 - ① 現在勤務校(相当学校)の一種免許状を取得しようとする者
 - ② 特別支援学校勤務教員で当該教諭及び当該障害種の免許状を有しない者
 - ③ 法別表第8に基づき隣接校種免許状を取得しようとする者
 - ④ 開設計画の「応募者条件」を満たす者
- (2) 県内小、中、義務教育、高、中等教育、特別支援学校又は給食センター等に勤務する学校栄養職員で、次の項目に該当する者
 - ① 法附則第17項に基づき栄養教諭免許状を取得しようとする者
 - ② 開設計画の「応募者条件」を満たす者

6 実施方法

インターネットを活用した同時双方向型(ライブ配信型)講義を行う。

- (1) ビデオ会議アプリ「Google Meet」または「Webex」を使用する。
- (2) 本講習を受講するにあたってはインターネット環境が整っていること、PC、Webカメラ、マイク及びスピーカーを使用できることが条件となるため各自用意すること。
- (3) ビデオ会議アプリの操作方法等については受講決定時に別途通知する。
- (4) No.9の講座では演習でデータ処理をするため、ExcelがインストールされたPCを各自用意すること。

7 受講科目及び経費

- (1) 受講科目は実施期間ごとに1科目(1単位)までとする。
なお、同一実施期間の科目を2科目以上申し込んだ場合は、当該申込の全てを受け付けないこととするので注意すること。(他県での同一実施期間の科目を申し込んだ場合も同様とする。)
- (2) 受講希望者が募集定員を超えた場合は、受講者を制限する場合がある。
- (3) 二種免許状を有する者で一種免許状の取得に係る努力義務を有する者は、当該一種免許状への上進に必要な科目を先に修得するよう計画して受講すること。
- (4) 特別支援教育科目について
No4, 5, 6, 7, 8, 9, 14の講座については「心理、生理及び病理に関する科目」又は「教育課程及び指導法に関する科目」として別々に開設するので注意すること。
- (5) 受講料は徴収しない。ただし、テキスト代、教材費、教材等送付料、通信費、機器類等の実費は受講者負担とする。

8 受講申込方法

- (1) 受講希望者は、科目ごとに受講申込書(様式1)を作成し、所属長に1部提出すること。
- (2) 所属長は、受講申込者一覧(様式2)を作成し、受講申込書(様式1)を添付して、所管の県教育委員会に1部提出すること。
- (3) 各県教育委員会の主務課は、受講者推薦一覧表(様式3)を「講座No」別に作成の上、講座No.1～10については宮城県教育庁教職員課宛て、講座No.11～14については宮城県教育庁教職員課・仙台市教育局教育人事部教職員課宛の両方に1部提出すること。

9 受講者の決定通知

7月中旬までに、各教育委員会を通して通知する。

10 単位認定

この認定講習による認定単位は、法別表第3、第5、第6、第6の2(法附則第17項)、第7及び第8で当該免許状を取得する場合において使用できるものであり、法別表第1、第2及び第2の2の所要単位としては使用できないものであること。

11 その他

- (1) 他県教員の受講については、各開設講座に対する本県教員の受講者決定後に講座定員に余裕がある場合に限るものとする。
- (2) 申込以後の辞退は原則として認めないので注意すること。
- (3) 申込にあたっては、研修、学校行事等の日程と重複しないことを必ず確認すること。
- (4) 受講者側のインターネット接続等のトラブルにより受講ができなかった場合については一切対応しない。
- (5) 受講にあたって、身体的事由により何らかの配慮を必要とする場合は、申込前に事前に下記の事務局に連絡すること。
- (6) 問合せ先
 - ・ 宮城県教育庁教職員課育成・免許班
(〒980-8423 仙台市青葉区本町 3-8-1 電話番号 022-211-3639)
 - ・ 仙台市教育局教育人事部教職員課
(〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-5-12 電話番号 022-214-8873)

令和4年度宮城県教育委員会・仙台市教育委員会免許法認定講習開設計画

宮城県教育委員会開設分

No.	免許法施行規則に定める科目・事項		開設科目名	別表 第8対 応科目	取得対象 免許種別	応募者条 件(保有 必要免許 状)	定員	講師氏名	実施期間							講習形態 (使用アプリ)		
									1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期			
1	教職	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) (R4認定講習)	—	幼一種	幼二種	50	宮城教育大学 教授 本田 伊克 特任教授 猪股 亮文									インターネットによるライブ配信 (Webex)	
小一種					小二種													
中一種					中二種													
高一種					—					○								
養教一種					養教二種													
栄教一種					栄教二種													
					栄教二種	—												
2		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)(算数)	小専数学(R4認定講習)	○	小一種	小二種	40	宮城教育大学 教授 鎌田 博行 教授 田谷 久雄 准教授 佐藤 得志										
小二種					幼・中					○								
3		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)(図画工作)	図画工作(R4認定講習)	○	小一種	小二種	40	宮城教育大学 特任教授 高橋 直人							○			
小二種					幼・中													
4	特支	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育 総論 (R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	150	東北福祉大学 教授 大西 孝志		○								
特支一種					特支二種													
特支二種					特支二種													
特支二種					幼・小・中・高													
5		特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目(中心となる領域:視覚障害者含む:なし)	視覚障害の心理・生理・病理 (R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	70	宮城教育大学 准教授 永井 伸幸									
						特支一種	特支二種					○						
						特支二種	特支二種											
						特支二種	幼・小・中・高											
6			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目(中心となる領域:聴覚障害者含む:なし)	聴覚障害者の心理・生理・病理 (R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	80	東北福祉大学 教授 大西 孝志								○	
						特支一種	特支二種											
						特支二種	特支二種											
						特支二種	幼・小・中・高											
7			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目(中心となる領域:聴覚障害者含む:なし)	聴覚障害教育総論(R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	80	宮城教育大学 准教授 松崎 丈				○					
						特支一種	特支二種											
						特支二種	特支二種											
						特支二種	幼・小・中・高											
8			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目(中心となる領域:肢体不自由者 含む:なし)	肢体不自由者の心理・生理・病理 (R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	60	東北福祉大学 准教授 和 史朗					○				
						特支一種	特支二種											
						特支二種	特支二種											
						特支二種	幼・小・中・高											
9			心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目(中心となる領域:病弱者 含む:なし)	病弱の心理・生理・病理 (R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	60	東北福祉大学 教授 村上 由則	○								
						特支一種	特支二種											
						特支二種	特支二種											
						特支二種	幼・小・中・高											
10	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心理、生理及び病理に関する科目・教育課程及び指導法に関する科目(中心となる領域:重複・LD等 含む:視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者)	特別支援教育総論(領域外領域)(R4認定講習)	—	特支一種	特支一種	150	宮城教育大学 教授 菅井 裕行 教授 植木田 潤							○			
					特支一種	特支二種												
					特支二種	特支二種												
					特支二種	幼・小・中・高												

第1期： 8月6日(土) 9:00～16:30・8月7日(日) 9:00～16:30

第2期： 8月11日(木) 9:00～16:30・8月12日(金) 9:00～16:30

第3期： 8月13日(土) 9:00～16:30・8月14日(日) 9:00～16:30

第4期： 8月15日(月) 9:00～16:30・8月16日(火) 9:00～16:30

第6期： 8月20日(土) 9:00～16:30・8月21日(日) 9:00～16:30

第7期： 8月27日(土) 9:00～16:30・8月28日(日) 9:00～16:30

※上記の時間には休憩時間を含みます。1日の講義の実時間は6時間です。

令和4年度宮城県教育委員会・仙台市教育委員会免許法認定講習開設計画

仙台市教育委員会開設分

No.	免許法施行規則に定める科目・事項		開設科目名	別表 第8対 応科目	取得対象 免許種別	応募者条 件(保有 必要免許 状)	定員	講師氏名	実施期間							講習形態 (使用アプリ)	
									1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期		
11	教職	特別活動の指導法		特別活動の指導法(R4認定講習)	×	小一種	小二種	80	宮城教育大学 特任教授 猪股 亮文							○	インターネットによるライブ配信 (Webex)
中一種						中二種											
高一種						－											
－					養教一種	養教二種											
					栄教一種	栄教二種											
					栄教二種	－											
12		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法(R4認定講習)	○	小一種	小二種	60	福島大学 准教授 富永 美佐子							○	
						小二種	幼・中										
						中一種	中二種										
						中二種	小・高										
						高一種	中専 中一種										
13	特支	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目(中心となる領域:知的障害者含む:なし)	知的障害者の心理・生理・病理(R4認定講習)	－	特支一種	特支一種	150	宮城教育大学 准教授 野崎 義和							○	
						特支一種	特支二種										
						特支二種	特支二種										
						特支二種	幼・小・中・高										
14					心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目(中心となる領域:知的障害者含む:なし)	知的障害者の教育課程等(R4認定講習)	－	特支一種	特支一種	150	東北福祉大学 教授 辻 誠一						○
								特支一種	特支二種								
								特支二種	特支二種								
								特支二種	幼・小・中・高								

第5期： 8月18日(木) 9:00～16:30・8月19日(金) 9:00～16:30

第6期： 8月20日(土) 9:00～16:30・8月21日(日) 9:00～16:30

※上記の時間には休憩時間を含みます。1日の講義の実時間は6時間です。

(様式 1-1)学校栄養職員以外用

受講申込書(本人記載用)

所属校名

職名		フリガナ	
連絡先	— —	氏名	
E-mail			
生年月日	S・H . .	性別	男 ・ 女
最終学歴			
採用年月日	S・H・R . .	教職経験年数	年
基礎免許状 授与年月日	教諭 種免許状(教科・領域) S・H・R . . 授与		

下記のとおり受講したいので申し込みます。

記

受講申込講座	No	科目名	
講座開設期日	令和4年8月 日()～ 8月 日()		
講座希望順位	申込講座数()講座中 第()位		
受講希望理由	取得希望免許状(教科・領域) 根拠		

【記入上の注意事項】

- (1) 申込以後の辞退は原則として認めないので、学校行事や参加が義務付けられている研修会等の日程等を考慮して希望すること。
- (2) E-mail は、資料の送付等に使用するため常に確認できる個人アドレスを記載すること。
- (3) 受講希望講座 1 講座につき本申込書を 1 部ずつ作成すること。
- (4) 受講希望理由の欄には当該講習を受講することにより取得を希望する免許状の種類と根拠を記載すること。

なお、「応募者条件」を満たしている事実についても必ず記載すること。

※ 記入例：「小一種・別表第 3 による上進」

「中二種(理科)・別表第 8 による隣接校種免許状取得」

「特支二種(知)・別表第 7 による取得」

「特支二種(視)・施行規則第 7 条第 5 項による領域追加」

- (5) 受講申込講座の番号及び科目名等については、確実に記録しておくこと。

(様式 1-2)学校栄養職員用

受講申込書(本人記載用)

所属校名

職名		フリガナ	
連絡先	— —	氏名	
E-mail			
生年月日	S・H . .	性別	男 ・ 女
最終学歴			
採用年月日	S・H・R . .	教職経験年数	年
基礎資格	管理栄養士免許：S・H・R . . 授与		
	管理栄養士養成施設の課程を修了し栄養士免許を有する： S・H・R . . 授与		
	栄養士免許：S・H・R . . 授与		
	教諭 種免許状(教科・領域) S・H・R . . 授与		

下記のとおり受講したいので申し込みます。

記

受講申込講座	No	科目名	
講座開設期日	令和4年8月 日()～ 8月 日()		
講座希望順位	申込講座数()講座中 第()位		
受講希望理由	取得希望免許状(教科・領域) 根拠		

【記入上の注意事項】

- (1) 申込以後の辞退は原則として認めないので、学校行事や参加が義務付けられている研修会等の日程等を考慮して希望すること。
- (2) E-mail は、資料の送付等に使用するため常に確認できる個人アドレスを記載すること。
- (3) 受講希望講座 1 講座につき本申込書を 1 部ずつ作成すること。
- (4) 受講希望理由の欄には当該講習を受講することにより取得を希望する免許状の種類と根拠を記載すること。

なお、「応募者条件」を満たしている事実についても必ず記載すること。

※ 記入例：「栄二種・附則第 17 項による取得」

- (5) 受講申込講座の番号及び科目名等については、確実に記録しておくこと。

(様式 1-3)実習免許取得希望者用

受講申込書(本人記載用)

所属校名 _____

職名		フリガナ	
連絡先	— —	氏名	
E-mail			
生年月日	S・H . .	性別	男 ・ 女
最終学歴			
採用年月日	S・H・R . .	教職経験年数	年

下記のとおり受講したいので申し込みます。

記

受講申込講座	No	科目名	
講座開設期日	令和4年8月 日()～ 8月 日()		
講座希望順位	申込講座数()講座中 第()位		
受講希望理由	取得希望免許状(教科・領域) 根拠		

【記入上の注意事項】

- (1) 申込以後の辞退は原則として認めないので、学校行事や参加が義務付けられている研修会等の日程等を考慮して希望すること。
- (2) E-mail は、資料の送付等に使用するため常に確認できる個人アドレスを記載すること。
- (3) 受講希望講座 1 講座につき本申込書を 1 部ずつ作成すること。
- (4) 受講希望理由の欄には当該講習を受講することにより取得を希望する免許状の種類と根拠を記載すること。

なお、「応募者条件」を満たしている事実についても必ず記載すること。

※ 記入例：「高一種（工業実習）・附則第9項イによる取得」

- (5) 受講申込講座の番号及び科目名等については、確実に記録しておくこと。

(様式2)

受講申込者一覧表

所属校名	
所属長名	

開設期	期	開設期間	~
-----	---	------	---

[illegible]

【記入上の注意事項】

- (1) 色つきのセルには、算式が入力されているので、入力しないこと。
- (2) 講座番号ごとに一葉にまとめ、末尾に「計()名」と同講座希望人数の合計を入力すること。
- (3) 「講座No」欄は、プルダウンから該当する講座番号を選択すること。
- (4) 「生年月日」欄は「*.*.*.*」のように入力すること。(例: 昭和50年4月1日生→S50. 4. 1)
- (5) 「取得希望免許状」欄及「免許法別表名」欄は、様式1に記載された内容を確認の上、申込理由を「小一〜小六」・「別表3」・「特定二種(視)」・「施行規則7条5項」のように入力すること。
- (6) E-mailは、資料の送付等に使用するための個人アドレスを記載すること。

(様式3)

受講者推薦一覧表

			所屬所名	
			所屬長名	
講座No		科目名		
開設期		開設期間	～	

[illegible]

【記入上の留意事項】

- (1) 色つきのセルには計算式が入力されているので、入力しないこと。
- (2) 「講座No」欄は、プルダウンから該当する講座番号を選択すること。
- (3) 講座別に推薦順位をつけ、入力すること。
- (4) 「生年月日」欄は、「S*. **.*/.」のように入力すること。(例:昭和50年4月1日生→S50. 4. 1)
- (5) 「採用年度」欄は、初任者として採用された年度を入力すること。
- (6) 「免許法別表名」欄は、「取得希望免許状」欄に入力した免許状の取得基準を入力すること。(例:別表3, 施行規則7条5項等)
- (7) E-mailは、資料の送付等に使用するため常に確認ができる個人アドレスを記載すること。

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属校	
基礎免許状	小学校教諭二種免許状	取得年月日	年 月 日	所要在职年数経過日		年 月 日	

	小学校教諭一種免許状取得に要する科目及び単位の修得基準				単位修得状況		
	新 法 (※) に よ る 修 得 方 法		旧法 (※) による対応科目	年次	修得済科目 ・ 修得予定科目	単位	
	単位修得方法・所要単位	所 要 科 目					
教科に関する専門的事項に関する科目	10科目中1以上の科目について修得する。	1	国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育及び外国語	国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育	— — —	— — —	— — —
各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	1単位以上。	7	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	各教科の指導法	— —	— —	— —
	①～⑥のうち1以上の科目を含めて修得する。		教育の基礎的理解に関する科目 ①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑤特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ⑥教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割 ②教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ②進路選択に資する各種機会の提供等 ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ⑥教育課程の意義及び編成の方法	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —
	①1単位以上。		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目 ①道徳の理論及び指導法 ②総合的な学習の時間の指導法 ③特別活動の指導法 ④教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ⑤生徒指導の理論及び方法 ⑥教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ⑦進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	①道徳の指導法 ③特別活動の指導法 ④教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ⑤生徒指導の理論及び方法 ⑥教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ⑦進路指導の理論及び方法	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —
大学が独自に設定する科目	2				※備考の4を参照		
計	10						

1 小学校教諭二種免許状保有教員は、当該一種免許状上進に備え、この様式を活用して常に所要単位の修得状況を把握するものとする。

2 なお、修得基準欄は、教育職員免許法第6条別表第3による当該一種免許状取得に要する単位等について、在職年数に応じて減した最低修得単位数に基づく修得基準として新法による修得方法を示したものであり、旧法基準で修得した単位は旧法による対応科目欄に示した区分に応じて、新法における科目の単位とみなすことになる。

3 所要在職年数経過日欄は、基礎免許状取得後において当該免許状に係る教員として必要とされる在職年数（短期大学の卒業の場合は12年、4年制大学の卒業等の場合は6年）を経過する日を記入する。

4 なお、当該在職年数には、非常勤講師の期間、90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。

5 単位修得状況欄には、基礎免許状取得後において修得した単位等を浄書するとともに、修得予定単位等を鉛筆書きする。

6 大学が独自に設定する科目欄の2単位分については、選択する「教科に関する専門的事項に関する科目」欄または「各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等」欄のいずれかに含めて記入する。

単位修得状況個人別台帳

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属校	
基礎免許状	中学校教諭二種免許状	取得年月日	年 月 日	所要在职年数経過日		年 月 日	

（※）新法：平成28年改正法，旧法：平成10年改正法

	中学校教諭一種免許状取得に要する科目及び単位の修得基準				単位修得状況		
	新 法（※） に よ る 修 得 方 法			旧法（※）による対応科目	年 次	修 得 済 科 目 ・ 修 得 予 定 科 目	単 位
	単位修得方法・所要単位		所 要 科 目				
教科に関する専門的事項に関する科目	教科毎の科目を3以上、各1単位以上修得する。	3	教育職員免許法施行規則第4条の表に定める科目 R2版必修教育関係法規国法編のP1481を参照のこと。	・同左	— — —	— — —	— — —
各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等			各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	各教科の指導法	— —	— —	— —
	①～⑥のうち1以上の科目を含めて修得する。	5	教育の基礎的理解に関する科目 ①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑤特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ⑥教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割 ②教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。） ②進路選択に資する各種機会の提供等 ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ⑥教育課程の意義及び編成の方法	— — — — — — — —	— — — — — — — —	— — — — — — — —
	①～⑦のうち1以上の科目を含めて修得する。		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目 ①道徳の理論及び指導法 ②総合的な学習の時間の指導法 ③特別活動の指導法 ④教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ⑤生徒指導の理論及び方法 ⑥教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ⑦進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	①道徳の指導法 ③特別活動の指導法 ④教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ⑤生徒指導の理論及び方法 ⑥教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ⑦進路指導の理論及び方法	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —
大学が独自に設定する科目	2					※備考の4を参照	
計	10						

一 備 考 一

- 中学校教諭二種免許状保有教員は、当該一種免許状上進に備え、この様式を活用して常に所要単位の修得状況を把握するものとする。
なお、修得基準欄は、教育職員免許法第6条別表第3による当該一種免許状取得に要する単位等について、在职年数に応じて通減した最低修得単位数に基づく修得基準として新法による修得方法を示したものであり、旧法基準で修得した単位は旧法による対応科目欄に示した区分に応じて、新法における科目の単位とみなすことになる。
- 所要在职年数経過日欄は、基礎免許状取得後において当該免許状に係る教員として必要とされる在职年数（短期大学の卒業の場合は12年，4年制大学の卒業等の場合は6年）を経過する日を記入する。
なお、当該在职年数には、非常勤講師の期間，90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。
- 単位修得状況欄には、基礎免許状取得後において修得した単位等を浄書するとともに、修得予定単位等を鉛筆書きする。
- 大学が独自に設定する科目欄の2単位分については、選択する「教科に関する専門的事項に関する科目」欄または「各教科の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等」欄のいずれかに含めて記入する。

単位修得状況個人別台帳

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属校	
基礎免許状	養護教諭二種免許状	取得年月日	年 月 日	所要在职年数経過日		年 月 日	

(※) 新法：平成28年改正法，旧法：平成10年改正法

	養護教諭一種免許状取得に要する科目及び単位の修得基準				単位修得状況		
	新 法 (※) に よ る 修 得 方 法		旧法 (※) による対応科目	年次	修得済科目 ・ 修得予定科目	単 位	
	単位修得方法・所要単位	所 要 科 目					
養護に関する科目		1	①衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	・同左	— —	— —	
	②～④のうち1科目以上選択し2単位以上を修得。	2	②学校保健 ③養護概説 ④健康相談活動の理論・方法	・同左	— — —	— — —	
	⑤～⑧のうち2科目以上選択し3単位以上を修得。	3	⑤栄養学（食品学を含む。） ⑥解剖学・生理学 ⑦「微生物学，免疫学，薬理概論」 ⑧精神保健	・同左 ・同左 ・同左 ・同左	— — — —	— — — —	
	小 計	6					
養護教諭・栄養教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	①～⑥のうち1以上の科目を含めて修得する。	4	教育の基礎理論に関する科目 ①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ③教育に関する社会的，制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ④幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑤特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解 ⑥教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割 ②教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ②進路選択に資する各種機会の提供等 ③教育に関する社会的，制度的又は経営的事項 ④幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ⑥教育課程の意義及び編成の方法	— — — —	— — — —	
	①～④のうち1以上の科目を含めて修得する。		①道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談に関する科目 ①道徳，特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容 ②教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ③生徒指導の理論及び方法 ④教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	①道徳及び特別活動に関する内容 ②教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ③生徒指導の理論及び方法 ④教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	— — — —	— — — —	
	小 計	4					
合 計	10						

一 備 考 一

1 養護教諭二種免許状保有者は，当該一種免許状上進に備え，この様式を活用して常に所要単位の修得状況を把握するものとする。

なお，修得基準欄は，教育職員免許法第6条別表第6による当該一種免許状取得に要する単位等について，在职年数に応じて通減した最低修得単位数に基づく修得基準として新法による修得方法を示したものであり，旧法基準で修得した単位は旧法による対応科目欄に示した区分に応じて，新法における科目の単位とみなすことになる。

2 所要在职年数経過日欄は，基礎免許状取得後において当該免許状に係る養護教諭として必要とされる在职年数（5年，保健師の免許を基に養護教諭二種免許状を取得した者又は大学の卒業等の場合は1年）を経過する日を記入する。

なお，当該在职年数には，非常勤講師の期間，90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。

3 単位修得状況欄には，基礎免許状取得後において修得した単位等を浄書するとともに，修得予定単位等を鉛筆書きする。

単位修得状況個人別台帳

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属園	
基礎免許状	幼稚園教諭二種免許状	取得年月日	年 月 日	所要在職年数経過日		年 月 日	

※備考2に注意すること。
(※)新法：平成28年改正法，旧法：平成10年改正法

	幼稚園教諭一種免許状取得に要する科目及び単位の修得基準			単位修得状況		
	新 法 (※) に よ る 修 得 方 法		旧法 (※) による対応科目	年	修得済科目	単
	単位修得方法・所要単位	所 要 科 目		次	修得予定科目	位
領域に関する専門的事項に関する科目	5科目中、1以上の科目について修得する。	1	領域に関する専門的事項に関する科目（健康、人間関係、環境、言葉及び表現）	小学校の教科に関する科目（国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育）	— — —	— — —
保育内容の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	1単位以上。	7	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）	・保育内容の指導法（健康、人間関係、環境、言葉、言葉及び表現）	— — —	— — —
	①～⑥のうち1以上の科目を含めて修得する。		教育の基礎理論に関する科目 ①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑤特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ⑥教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割 ②教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ②進路選択に資する各種機会の提供等 ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ⑥教育課程の意義及び編成の方法	— — — — — —	— — — — — —
	①～③のうち1以上の科目を含めて修得する。		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目 ①教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ②幼児理解の理論及び方法 ③教育相談（カウンセリング）に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	①教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ②幼児理解の理論及び方法 ③教育相談（カウンセリング）に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	— — — —	— — — —
大学が独自に設定する科目		2	※備考の4を参照			
計		10				

－ 備 考 －

- 幼稚園教諭二種免許状保有教員で、当該一種免許状に上進する場合は、この様式を活用して所要単位の修得状況を把握すること。
なお、修得基準欄は、教育職員免許法第6条別表第3による当該一種免許状取得に要する単位等について、在職年数に応じて通減した最低修得単位数に基づく修得基準として新法による修得方法を示したものであり、旧法基準で修得した単位は旧法による対応科目欄に示した区分に応じて、新法における科目の単位とみなすことになる。
- 所要在職年数経過日欄は、基礎免許状取得後において当該免許状に係る幼稚園の教員として必要とされる在職年数（短期大学の卒業の場合は12年、4年制大学の卒業等の場合は6年）を経過する日を記入する（保育士としての在職期間は算入しないこと）。
なお、当該在職年数には、非常勤講師の期間、90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。
- 単位修得状況欄には、基礎免許状取得後において修得した単位等を浄書するとともに、修得予定単位等を鉛筆書きする。
- 大学が独自に設定する科目欄については、選択する「領域に関する専門的事項に関する科目」欄または「保育内容の指導法に関する科目又は教諭の教育の基礎的理解に関する科目等」欄のいずれかに含めて記入する。

単位修得状況個人別台帳

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属校	
基礎免許状		取得年月日	年 月 日	所要在职年数経過日		年 月 日	
取得希望領域	視・聴・知・肢・病						

		特別支援学校教諭免許状取得に要する科目及び単位の修得基準			単位修得状況			
		新法による修得方法	単位修得方法 ・ 所要単位	旧法による 対 応 科 目	年 次	修 得 済 科 目 ・ 修得予定科目	領域	単 位
		所要科目						
特 別 支 援 教 育 に 関 す る 科 目	第 一 欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	左記の①及び②を 全て修得する。 1	・盲・聾・養護学校 の教育の基礎理論 に関する科目	<div></div> <div></div> <div></div>	<div></div> <div></div> <div></div>		<div></div> <div></div> <div></div>
		特別支援教育に係る、心身に障害のある 幼児、児童又は生徒についての ①教育の理念並びに教育に関する歴史 及び思想 ②教育に関する社会的、制度的又は経 営的事項						
	第 二 欄	特別支援教育領域に関する科目	取得希望 の全ての 領域につ いて、左 記の①及 び②を全 て修得す る。 1 (2) 【 】	・養護学校（盲・聾 学校）の心理、生 理及び病理に関す る科目 ・養護学校（盲・聾 学校）の教育課程 及び指導法に関す る科目	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>		<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の ①心理、生理及び病理に関する科目 ②教育課程及び指導法に関する科目						
	第 三 欄	免許状に定められることとなる特別支援領 域以外の領域に関する科目	左記の① 及び②を 全て修得 する。 2 【 】	・盲・聾・養護学校 の心理、生理及び 病理に関する科目 ・盲・聾・養護学校 の教育課程及び指 導法に関する科目	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	重複・ LD等	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の ①心理、生理及び病理に関する科目 ②教育課程及び指導法に関する科目						
	特別支援教育 に関する科目 (自由選択科目)		上記科目より自由に選択する。	2 (1) 【 】	※備考の4を参照			
計			6 【 】					

所要単位欄の単位数は知的障害者・肢体不自由者又は病弱者に関する教育領域について、（ ）は視覚障害者又は聴覚障害者に関する教育領域について取得する単位数を表したものです。

－ 備 考 －

- 特別支援学校教諭免許状一・二種の取得に際しては、この様式を活用して常に所要単位の修得状況を把握するものとする。
なお、修得基準欄は、教育職員免許法第6条別表第7による当該一種・二種各免許状取得に要する単位等について、所要在职年数（3年以上）に応じた最低修得単位数に基づく修得基準として新法による修得方法を示したものであり、旧法基準で修得した単位は旧法による対応科目欄に示した区分に応じて、新法における科目の単位とみなすことになる。
 - 所要在职年数経過日欄は、基礎免許状取得後において当該免許状に係る教員として必要とされる在职年数（3年）を経過する日を記入する。
基礎免許状とは、二種免許状取得の場合は小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状であり、一種免許状取得の場合は特別支援学校教諭（盲・聾・養護学校教諭免許状を含む。）の二種免許状である。
なお、当該在职年数には、非常勤講師の期間、90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。
 - 単位修得状況欄には、基礎免許状取得後において修得した単位等を浄書するとともに、修得予定単位等を鉛筆書きする。
 - 特別支援教育に関する科目（自由選択科目）欄の2単位分については、選択する何れかの科目欄に含めて記入する。
 - 複数領域の免許状の取得を希望する場合は、別紙を参考に取得すべき単位数を【 】に記入する。
- ※ この台帳は領域追加には対応していないが、必要な単位数を確認の上、第二欄に記入するものとする。

単位修得状況個人別台帳

氏名		生年月日	年 月 日	職名		所属校	
基礎資格	管理栄養士免許（二種免許 状の場合は栄養士免許）	取得年月日	年 月 日	所要在职年数経過日		年 月 日	

	栄養教諭免許状取得に要する科目及び単位の修得基準				単位修得状況		
	修 得 方 法		所 要 単 位		年	修 得 済 科 目	単
	単位修得方法	所 要 科 目	一種免許状	二種免許状	次	修得予定科目	位
栄養に係る教育に関する科目			2	2	—	—	—
養護教諭・栄養教諭の教育の基礎的理解に関する科目等	1以上の事項を含めて修得する。	教育の基礎的理解に関する科目 ①教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ②教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ③教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ④幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑤特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ⑥教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	2	—	—	—
	1以上の事項を含めて修得する。	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目 ①道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容 ②教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ③生徒指導の理論及び方法 ④教育相談（カウンセリング）に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	2	—	—	—
		栄養教育実習	1	1	—	—	—
		教諭の教育の基礎的理解に関する科目（自由選択）	3	1	※備考の6を参照		
	小 計		8	6			
合 計			10	8			

－ 備 考 －

- 1 栄養教諭免許状（一種・二種）の取得に際しては、この様式を活用して常に所要単位の修得状況を把握するものとする。
なお、修得基準欄は、教育職員免許法附則第17項による当該一種免許状又は二種免許状取得に要する単位等（学校給食法第5条の3に規定する職員（栄養教諭を除く。）が、栄養教諭免許状を取得する場合）について示しているものである。
- 2 所要在职年数経過日欄は、基礎資格取得後において学校給食法第5条の3に規定する学校栄養職員として必要とされる在职年数（3年）を経過する日を記入する。（教諭又は養護教諭の普通免許状を有する場合は、1年未満の在职年数であっても要件を満たす。）
なお、当該在职年数には、90日を超える病気休暇や育児休業等の期間及び休職期間は通算できない。
- 3 基礎資格とは、二種免許状取得の場合は栄養士免許証を有する者であり、一種免許状取得の場合は、管理栄養士免許証又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士免許証を有する者である。
- 4 教諭又は養護教諭の普通免許状を有する場合は、「栄養に係る教育に関する科目」2単位を修得することにより修得基準の要件を満たす。
- 5 栄養教育実習の単位は、免許法第3条の2に規定する非常勤講師として1年以上良好な成績で勤務した場合は、他の教諭に関する科目の単位をもってこれに替えることができる。
- 6 教諭の教育の基礎的理解に関する科目（自由選択）欄の単位については、選択する何れかの科目欄に含めて記入する。

令和4年度宮城県教育委員会・仙台市教育委員会免許法認定講習時間割表

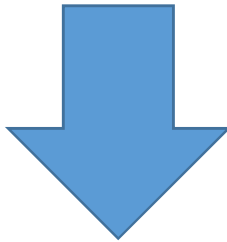
(講習スケジュール例)

① インターネットによるライブ配信

日程	第 1 時限	休憩	第 2 時限	昼食	第 3 時限	休憩	第 4 時限
	9:00		10:45		13:15		15:00
	～		～		～		～
	10:30		12:15		14:45		16:30
1 日目	講義①②		講義③④		講義⑤⑥		講義⑦⑧
2 日目	講義⑨⑩		講義⑪⑫		講義⑬⑭		講義⑮⑯



② 講義最終日又は講義終了後，レポート作成



③ レポート提出

2
週
間

◎教育職員検定により免許状の授与を受ける場合(免許法別表第7)

- ・小学校・中学校・高等学校・幼稚園教諭等 → 特別支援二種
- ・特別支援二種 → 特別支援一種
- ・盲・聾・養護学校二種 → 特別支援一種

◎教育職員検定により新教育領域を追加する場合（施行規則第7条第5項）

- ・特別支援二種に領域を追加
・盲・聾・養護学校二種に領域を追加
※領域を追加する場合は、第2欄の修得のみで良い

- 特別支援学校の教員免許状の取得においては、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者及びその他障害により教育上特別の支援を必要とする者に対する教育に関する事項(重複・LD等)の全てについて修得を必要とします。

- 旧法(旧課程)における修得単位(養護学校用)を新法(新課程)における修得単位に読み替える場合「知」「肢」「病」の3領域のうち、いずれか1つの領域の単位数に読み替えることができます。
- (例)養護学校の心理等 → 「知」または「肢」または「病」の心理等

- 別表第7により二種免許状から 一種免許状に進ずる場合の在職年数の取扱い
平成19年3月31日までの養護学校における教員としての在職年数は、「知」「肢」「病」の3領域の在職年数として合算することができます。
(盲学校は視覚、聾学校は聴覚の在職年数と合算)

- なお、平成19年4月1日からは、授与を受けようとする免許状に定められることとなる特別支援教育領域を担当する教員としての在職年数となっています。

知 知的障害者に関する教育の領域

⑧ 肢体不自由者に関する教育の領域

病弱者に関する教育の領域

⑧ 視覚障害者に関する教育の領域

聴覚障害者に関する教育の領域

重復・LD等(障害により教育上特別の支援を必要とする者に対する教育に関する事項)

心理等 心身に障害のある幼児，児童又は生徒の心理，生理及び病理に関する科目

教課等 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目

○ ☐ 中心となる領域で修得

 中心又は含む領域で修得

[illegible]

◎教育職員検定により新教育領域を追加する場合（施行規則第7条第5項）

- ・特別支援一種に領域を追加
- ・盲・聾・養護学校一種に領域を追加

- 旧法(旧課程)における修得単位(養護学校用)を新法(新課程)における修得単位に読み替える場合「知」「肢」「病」の3領域のうち、いずれか1つの領域の単位数に読み替えることができます。
- (例)養護学校の心理等 「知」または「肢」または「病」の心理等

知 知的障害者に関する教育の領域

④ 肢体不自由者に関する教育の領域

病弱者に関する教育の領域

相 視覚障害者に関する教育の領域

聴覚障害者に関する教育の領域

心理等 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目

教課等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目
-----	-----------------------------------

心理等及教課等	心理, 生理及び病理に関する科目 及び 教育課程及び指導法に関する科目
---------	--

○ ☐ 中心となる領域で修得

[illegible]